

# わたしたちの 印旛沼

印旛沼は太古は海の一部でした。そして、海の水位が下がり、川から運ばれてきた土砂が積もり陸化した結果、沼が形作られました。

昭和30年代までの印旛沼はローマ字のWの形をした大きな沼でした。その後干拓事業によりその面積を半分に減らし、現在の姿になりました。

## 印旛沼概要

調整池 沼面積 ■ 北沼：6.3km<sup>2</sup>  
西沼：6.8km<sup>2</sup> 計13.1km<sup>2</sup>

利水容量 ■ 13,100,000km<sup>3</sup>

計画高水位 ■ Y.P.+4.25m

常時満水位 ■ Y.P.+2.50m (かんがい期)  
Y.P.+2.30m (非かんがい期)

最低水位 ■ Y.P.+1.50m

調整池堤防 57km  
しょうすいろう 捷水路 4km

## 印旛沼開発事業前の印旛沼の姿



## 水の流れと主要施設



## 魅力ある印旛沼

豊かな自然環境  
多くの農産物にめぐまれ



## 沼に入る水



## 沼から出ていく水

沼の水は県内の生活用水、工業用水および農業用水として幅広く供給されています



美しい風景が広がり、人々が憩う場であり、県民の水源地である印旛沼は私たちの生活になくてはならない存在です。  
現在印旛沼は外来生物、水質汚濁など様々な問題も抱えています。  
環境保全や浄化を目指し、わたしたちの印旛沼を大切にしましょう。



平成30年度  
大和田機場  
春の一般開放

平成30年4月7日(土)  
10:00 ~ 15:00

■ 堆肥・レタス苗、無料配布を予定しています

(独)水資源機構 千葉用水総合管理所

住所：千葉県八千代市村上3139

TEL：047-483-0722

E-mail：chiba\_kouhou@water.go.jp

ホームページ：http://water.go.jp/kanto/chiba/index.html



千葉県の水がめ印旛沼を守り、洪水被害から地域を守ります